

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第12回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）地域活性化の方向性について（公開）

3 開催日時

令和5年2月15日（水） 午後6時30分から午後7時5分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、高橋武弘、平原留美、
山岸優子、横田英昭（欠席6人）

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

8 発言の内容

【小池係長】

・植木委員、片田委員、金子委員、佐藤力委員、清水委員、宮崎副会長を除く8人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

【有坂会長】

・会議録の確認：平原委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤センター長】

・配布資料の確認

- ・次第に基づき、議題の確認

【有坂会長】

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし

— 次第3 議題（1）地域活性化の方向性について —

【有坂会長】

次第3 議題（1）地域活性化の方向性について に入る。

前回の会議では、「地域活性化の方向性」の「構成要素」の 카테고리を決め、協議の結果、正副会長と事務局で素案を作成し、本日の会議で示すこととしていた。

事務局より説明を求める。

【小池係長】

資料No.1 … 2月2日に正副会長会議を開催し、前回会議までの協議内容を踏まえ作成した「地域活性化の方向性」の素案。

- ・前回会議で構成要素の 카테고리として「上越妙高駅等を主体とした考え方」「吹上・釜蓋遺跡等の歴史文化遺産の活用」「人材育成、交流」「イベント」「安心な暮らし」「自然、景観」の六つを選出したが、「人材育成、交流」と「イベント」を組み合わせることで構成要素は五つになった。
- ・選出されなかった 카테고리のうち「農業、食べ物」「情報通信」「地域の宝」を構成要素に振り分けた。
- ・前回会議で「構成要素を補足する別紙をつける」旨の意見をいただいたが、素案では別紙はつけないこととした。

参考資料（資料No.1）…前回会議の資料の再掲

参考資料（資料No.2）…前回会議の資料の再掲

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし

今ほど、素案を示したわけだが、前々回の会議で「地域活性化の方向性」の作成

にあたっては、下段の「構成要素」、次に上段の「見出し」の順で内容を固めていくこととした。

素案を基に、まずは下段の「構成要素」から固めていきたいと思う。素案の五つの構成要素について、また、記載の順番等も含めて意見を求める。

【佐藤勝雄委員】

資料No.1の上から4番目、「妙高山をはじめとする美しい景観・自然、豊かな農地の保全、活用」とあるが、農地の後に「環境の保全、活用」というように、「環境」という文言を入れた方がよいと思う。

【有坂会長】

「環境」という言葉だけを入れるということか。

【佐藤 勝雄委員】

農地は農地なのだが、それに付随する川や地形といった自然の環境のことである。そういったものを含める。

農地だけだと全体的に非常に狭い。「環境」も入れた方がよい。

【有坂会長】

どういう言葉の作り方になるか。

【佐藤勝雄委員】

「豊かな農地、環境の保全」というように「環境」をプラスしてもらえるとよい。

【有坂会長】

「豊かな農地及び環境の保全」ということか。または、「農地・環境の保全」か。

【佐藤勝雄委員】

点を入れずに「農地環境」と続けてよいと思う。

【有坂会長】

何か少ししっくりこないような気もする。

【佐藤勝雄委員】

これは私の意見ということで、他の委員にも聞いてほしい。

【有坂会長】

他に意見等あるか。

【篠原委員】

「農地などの環境の保全」の方がよいと思う。

そうすると、文章的に前の「景観・自然、豊かな農地」にかかってくるのではな
いか。

【有坂会長】

承知した。

高橋委員、何か意見等あるか。

【高橋委員】

特にない。

【有坂会長】

平原委員、何か意見などあるか。

【平原委員】

特に意見はないが、今まで長らく検討してきたことがうまくまとまっているので、
このままでよいのではないかと思う。

【有坂会長】

山岸委員、何か意見等あるか。

【山岸委員】

私もこの中に構成要素がすべて入っているような感じがしているので、このまま
でよいと思う。

【有坂会長】

横田委員、何か意見等あるか。

【横田委員】

上越妙高駅のメリットを生かして、「訪れたい地域」「住みたい地域」といった要
素が入っているおり、非常にうまくまとまっていると思う。

【有坂会長】

草間委員、何か意見等あるか。

【草間委員】

よいと思う。

【有坂会長】

素案について概ね賛同をいただいた。

先ほど佐藤勝雄委員と篠原委員より4番目の構成要素について、「農地の保全」のほかに「環境」を入れるとの意見があった。これについて、意見を求めたい。

【平原委員】

「自然環境」とするとニュアンスや意味は変わってしまうか。

【有坂会長】

その前に「景観・自然」というものがあり、その後段で「農地」を言葉として挙げて、それに「環境」を付随させるような考えだと思う。

【佐藤勝雄委員】

稲作をやるには、綺麗な水、冷たい水、公害のない水が非常に大事である。

それに伴い環境整備がある。用水の整備等、自然界の環境ということで、人為的に環境を汚さない。そういうことを目指したいということで、「農地環境の保全」というように「環境」を入れた方がよいのではないかと思っている。

【有坂会長】

4段目の構成要素の中に、「環境」という言葉を入れることについて意見が分かれる場合には、採決をとる等しなければいけない。

これについて、何か意見等あるか。

どういう形で入れるにしろ、「環境」という言葉を入れることについて、反対の意見があれば伺いたいと思う。

【草間委員】

入れてもよいかと思う。

ただ、「環境」というものは、この文章の中で農地のエリアを指すのか、都市部も一緒に指すのか、その辺の考えをある程度、頭の中に入れておきたいと思う。

【佐藤勝雄委員】

篠原委員の発言にあったように、最初の文章から「妙高山をはじめとする美しい景観・自然」に通ずるところが「環境」につながる。

SDGsではないが、入れた方がよいのではないかと思った。

【平原委員】

「豊かな農業環境の保全」ということでよいのか。
農業を行う環境を保全する、といった意味合いか。

【有坂会長】

言葉としては、その方がしっくりくるかもしれない。
農地だけではなく、農業環境ということ。
佐藤勝雄委員、どうか。

【佐藤勝雄委員】

滑らかに文章がつながるのがベターなので、よいと思う。

【有坂会長】

では、「豊かな農業環境の保全と活用」といった言葉でよいか。

【佐藤勝雄委員】

繰り返すが、全体を通しての「環境保全」である。

【篠原委員】

そのように限定してしまうと、農地だけの「環境保全」ととられると思う。
美しい景観も自然も全部環境なので、すべて含めた表現にして欲しいと思う。

【有坂会長】

どういった表現がよいか。

【篠原委員】

先ほども発言したように、私の考えとしては、「豊かな農地などの景観保全」とすれば、全部の文章が絡まってくる。

「豊かな農地」だけに限ると、「妙高山をはじめとする美しい景観・自然」が浮いてしまうと思うが、どうか。

【有坂会長】

では「農地」という言葉を入れずに、「豊かな環境の保全と活用」といった言葉としてはどうか。

【草間委員】

「環境」という言葉をどこにつけるのかについて、「農地」と対等のところに「環

境」を入れるのか、「保全」につけて「農地等の環境保全」とするか。「環境保全」という言葉で全体を見る感じの文章の作り方もあるかとは思う。

【佐藤勝雄委員】

見出しにも「豊かな自然・農地を活かして」とあるので、「農地」は残した方がよいと思う。

【高橋委員】

今までの意見を聞いていると、私としては「美しい景観・自然、豊かな農地などの環境保全」という形がよいと思う。

【有坂会長】

篠原委員の発言にあったような言葉になるかと思うが、今ほど高橋委員が言われた言葉でいかがか。

(委員の承諾を得る。)

では、構成要素の4番目は「豊かな農地などの環境保全、活用」ということとする。

もう一度確認する。

五つの構成要素のうち、4項目は素案のとおりということで承諾を得た。

4番目の構成要素については、「妙高山をはじめとする美しい景観・自然、豊かな農地などの環境保全、活用」と変更することとする。

構成要素が決定したので、次に上段の見出しについて、素案を基に固めていきたい。

素案の見出しについて、意見を求める。

【佐藤勝雄委員】

「農地を活かし、住みやすい、住みたい、訪れたい地域」とした方がよいのではないか。「住み続けたい」というところは、個人的に何だかしっくりしない。

「農地を活かし」で止めて、「住みやすい」にした方がよいと思う。

【有坂会長】

「活かして」ではなく、「活かし」ということか。

【佐藤勝雄委員】

そうである。

【有坂会長】

他に意見等あるか。

【篠原委員】

「住み続けたい、住みたい」ということが、「住みやすい」という言葉に集約されると思うので、今の意見に賛成である。

【有坂会長】

他に意見等あるか。

【平原委員】

「住み続けたい、住みたい」という言葉に思いが入っていると思う。

今の人口減少の社会で和田区は、おそらく流入人口が増えている地域になっていると思う。「住み続ける」人たちと、「住みたい」と思って移住して来た人たちで新しい交流が生まれるような地域だと思うので、「住み続けたい、住みたい」という文言は特におかしくはないと思う。

【有坂会長】

・他に意見等、求めるがなし

では、「住み続けたい」という言葉を「住みやすい」に変えた方がよいという意見と、そのまま「住み続けたい」でよいという二つの意見が出ている。

・他の言葉も含めて、意見のある委員の発言を求めるがなし

「住み続けたい」と「住みやすい」という言葉について、多数決をとりたいと思う。

素案のとおり、「住み続けたい」でよいと思う委員は挙手願う。

(3人挙手)

次に「住みやすい」に変更した方がよいと思う委員は挙手願う。

(3人挙手)

草間委員は棄権ということか。

【草間委員】

これは削るのではなく、変更するということか。

【佐藤勝雄委員】

「農地を活かし、住みやすい、住みたい、訪れたい地域」に変更するというものである。

【草間委員】

それでよい。

【有坂会長】

では、「農地を活かし、住みやすい、住みたい、訪れたい地域を目指します」という言葉に変更する。

「地域活性化の方向性」の内容が固まった。改めて、内容を確認する。

構成要素については、1、2、3番目と5番目は素案のとおりとし、4番目を「妙高山をはじめとする美しい景観・自然、豊かな農地などの環境保全、活用」という言葉に変更する。

見出しについては、「和田区は、上越地域のゲートウェイとしての特性、魅力ある歴史・文化と豊かな自然・農地を活かし、住みやすい、住みたい、訪れたい地域を目指します。」ということとする。

・以上の内容でよいかを諮り、委員の承諾を得る

ただ今、委員の意見を基に素案を変更し、「地域活性化の方向性」の内容を固めた。この後、この内容を本日欠席の委員に示して、意見等あれば整理し、次回の会議で示したいと思う。そして、完成に至ることを見込んでいる。

なお、他区の地域協議会では、地域との意見交換等を経て「地域活性化の方向性」を完成させているところもある。正副会長の考えとしては、和田区地域協議会では委員間の協議により完成させることとし、完成した「地域活性化の方向性」は地域協議会だよりで地域に周知し、その場面等で意見を頂戴したいと思っている。

そのため、他団体と意見をすり合わせる等は考えていない。

・以上の取扱としてよいかを諮り、委員の承諾を得る

以上で次第3 議題（1）地域活性化の方向性について を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【有坂会長】

次第4 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤センター長】

- ・今後の地域協議会の日程連絡

令和5年度 第1回地域協議会：4月19日（水）18：30から

第2回地域協議会：5月24日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

- ・南部まちづくりセンターの移転について（4月から雁木通りプラザへ移転する）
- ・令和5年度「地域独自の予算」の情報共有の取り扱いについて（2月20日以降
に關係資料を郵送する）
- ・その他配布物：浦川原区地域協議会の意見書

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。